

平成29年度事業計画（案）

【事業概要】

事業	備考
<p>（仮称）地域公共交通再編実施計画（案）の作成</p> <p>※以下「（仮称）再編実施計画」という。</p>	<p>糸魚川市地域公共交通網形成計画（マスタープラン）の実現のための再編実施計画（アクションプラン）の策定</p> <p>協議会・・・計画（案）を協議・作成 糸魚川市・・・上記を受け、計画を策定</p> <p>（仮称）再編実施計画とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糸魚川市地域公共交通網形成計画が目指す姿の実現をめざし、基本方針及び実施方針に基づき実施する個別事業のうち、再編に関する事業について具体的な内容や実施時期等を定めるもの ・各事業の確実かつ効率的な推進のため、適切な進行管理を行うとともに、各年度の指針となるもの ・実施予定期間は、平成30年度から33年度まで（糸魚川市地域公共交通網形成計画の計画期間内） ・策定期間は、29年度末を想定（ただし、必要に応じて見直しを行う場合もある。） <p>（仮称）再編実施計画（案）作成の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会及び分科会での協議のほか、各地区での現状等説明及び協議（再編案、利用促進案等） ・地区の単位は、21地区公民館単位を想定 ・意見交換は、各地区にて2～3回程度を想定（地区の状況等による） ・（仮称）再編実施計画（案）作成に係る調査等の業務委託 <ul style="list-style-type: none"> ＜現在想定している業務＞ <ul style="list-style-type: none"> ○地区との再編等協議の方向性資料の作成（再編検討フロー、再編検討基準など） ○各地区協議資料の作成（地区別公共交通の現況、再編案など） ○変更路線や時刻表等の検討 ○再編実施計画（案）のとりまとめ など <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>各地区（住民）との協議や調整にできるかぎり時間を割きたいため、早期の委託契約としたい。</p> </div>
協議会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）再編実施計画（案）及び個別事業の実施等について協議 ・年4回程度を想定（必要に応じて開催）
分科会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）再編実施計画（案）及び個別事業の実施等に係る専門的内容について協議 ・道路、鉄路等の別に各3回程度を想定（必要に応じて開催）

平成29年度事業計画（案）

【個別事業】

実施方針	施策	個別事業		新/継	29年度		
		No	事業名		区分	実施・検討内容	
①交流人口の拡大や地域活性化に役立つ「まちづくりと連携した地域公共交通網」	まちづくりと連携した地域公共交通網の形成	1	立地適正化計画と連携した地域公共交通網の形成	新規	検討	立地適正化計画の策定過程（H29～30）で連携	
		2	地域づくりプランと連携した地域公共交通網の形成	新規	状況対応	地域づくりプラン策定または策定予定地区との連携	
	市民生活を支える地域公共交通網の確保	交流人口の拡大に役立つ地域公共交通網の形成	3	地域公共交通の確保に要する運行費等の助成	継続	実施	生活交通確保対策運行費補助金、コミュニティバス等運行費補助金
			4	北陸新幹線系魚川駅の利用促進	新規	検討	鉄道事業者とタイアップした企画検討や、周辺市町村等との連携による二次交通や観光商品の検討、情報発信
			5	鉄道の観光利用促進	新規	検討	北陸新幹線系魚川駅の利用者に対し、パークアンドライド駐車場料金を最大4日間無料サービス
			6	観光バス等の利用促進と新たな観光バスの整備	新規	段階実施	鉄道事業者とタイアップした企画検討、周辺市町村等との連携、鉄道を介した周遊、情報発信、鉄道イベント
			7	新たな観光タクシーの整備と利用促進	新規	検討	「雪月花」、「JR大系線」、ジオパルの利用促進、外国語対応検討、サイクルトレイン検討、花いっぱい運動
②鉄道とバスネットワークの「適切な役割分担による効率的な地域公共交通網」	鉄道とバスネットワークの適切な役割分担	8	鉄道とバスネットワークの適切な役割分担と接続改善	新規	検討	期間限定観光シャトルバスの企画・運行	
9	主な利用目的に合わせた通学通勤利用と生活利用に二分化した運行形態の構築	新規	検討	定期観光バス、シーズン限定観光路線バス等の運行、利用促進			
③JR大系線と沿線の魅力をつなぎ、「海と山の交流を盛り上げる地域公共交通網」	JR大系線の二次交通の整備と利用促進	10	JR大系線の二次交通の整備と利用促進	新規	検討	シオサイト等への周遊型観光二次交通メニュー整備	
		11	JR大系線ならではの新たな鉄道の楽しみ方や北陸新幹線との結節を生かした利用促進	新規	段階実施	既存観光タクシーをわかりやすく周知	
④えちごトキめき鉄道の新駅設置により、「新たな需要を掘り起こす地域公共交通網」	えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインの新駅設置	12	えちごトキめき鉄道日本海ひすいラインの新駅設置	—	—	—	
		13	新駅周辺地区と連携した新駅を生かす地域づくりの支援	新規	実施	適切な役割分担の意識付け、競合解消、接続改善	
		14	新駅の利用を促すアクセス方法の検討、整備	新規	段階実施	二分化し、地区に必要な運行形態や頻度等	
⑤バスネットワークの再編により、「持続可能性の高い地域公共交通網」	バスネットワークの乗換拠点の設定と効率的な形成（競合路線の見直し、集約）	15	バスネットワークの乗換拠点の設定、整備	新規	検討	鉄道事業者とタイアップした企画検討、沿線の観光施設や山岳等との観光二次交通の拡充（雨飾山直行タクシー）	
		16	バスネットワークの競合路線の見直し、集約	新規	検討	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行	
		9	主な利用目的に合わせた通学通勤利用と生活利用に二分化した運行形態の構築【再掲】				
		17	利用状況に合ったバスネットワークの運行形態、運行頻度の見直し	新規	検討	沿線市町村等との広域連携、鉄道事業者とタイアップ企画、鉄道イベント（大系線全線開通60周年記念事業など）	
		18	利用状況調査の実施	新規	検討	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行	
		18	利用状況調査の実施	継続	実施	沿線市町村等との広域連携、鉄道事業者とタイアップ企画、鉄道イベント（大系線全線開通60周年記念事業など）	
	19	地域内移動の利便性向上	新規	検討	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行		
	20	あさひまちバスとの連携強化	新規	検討	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行		
	21	公共的から地域公共交通利用への転換	新規	協議	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行		
	22	学校統合による通学方法の検討、確保	新規	検討	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行		
バスネットワークにおける運転士確保・育成への支援の検討	23	二種免許等の資格取得に対する支援の検討	新規	調査検討	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行		
	24	地区やNPOによる公共交通事業への支援	新規	状況対応	沿線の「小さな拠点」とつなぐ生活交通の運行		
⑥豊富な観光資源の活用により、「観光客等来訪者の需要を喚起する地域公共交通網」	点在するシオサイトや観光施設をつなぐ観光二次交通の整備	5	鉄道の観光利用促進【再掲】				
		6	観光バス等の利用促進と新たな観光バスの整備【再掲】				
		7	新たな観光タクシーの整備と利用促進【再掲】				
		7	新たな観光タクシーの整備と利用促進【再掲】				
⑦長岡・新潟方面等へのアクセス利便性を高め、「高次都市機能を楽しみやすい地域公共交通網」	鉄道の利便性向上と利用促進	25	鉄道の新潟方面への利便性向上と利用促進	継続	実施	乗換案内等の周知、移動利便性向上の働きかけ	
		26	鉄道の越前地区内及び富山県新川地区への利便性向上と利用促進	継続	実施	はなうまライン、日本海ひすいラインの接続改善働きかけ	
	高速バスの利便性向上と利用促進	27	高速バスの利便性向上と利用促進	新規	調整	新たなパークアンドライド駐車場確保、新たな利用促進	
⑧安全・安心・快適に利用でき、市民、交通事業者、市が「主体的に利用促進し育む地域公共交通網」	駅舎等の利用環境改善にむけた検討	28	駅舎等の利用環境改善にむけた検討	継続	調査	高速バス確保対策補助金、唯一の乗換なし新潟行き路線の利用促進	
		29	待合施設等の利用環境の改善	継続	実施	待合施設等の利用環境の改善	
	乗りやすく、乗りたくなる車両の導入・更新	30	バス・タクシー車両のバリアフリー化	継続	状況	ユニバーサルデザインタクシー車両の導入	
		31	乗りたくなる車両のラッピング	継続	状況対応	状況に応じて対応	
	わかりやすい案内や情報提供	32	わかりやすい乗換等の案内	新規	検討	分かりやすい案内方法、啓発資料	
		33	定期的でわかりやすい情報提供	新規	実施	市や関係HPの表現の統一、系魚川駅デジタルサイネージ（電子看板）の活用、問合せ対応	
		33	定期的でわかりやすい情報提供	継続	実施	地域公共交通再編に向けた取組に関する情報発信や市民との合意形成	
	MM手法を取り入れた積極的な啓発活動と主体的な利用促進	34	市民等に向き寄り添う利用促進活動	継続	実施	広報やHPを活用した地域公共交通の厳しい現状等の情報提供	
		35	バスの乗り方や公共交通利用マナーの学習機会の創出	継続	実施	「路線バス出張サロンよるまいか〜」	
		36	イベントと連携した利用機会の創出	継続	実施	各年齢層別の「バス教室」（園児、小学生、大人など）	
37		商業施設等と連携した利用促進	新規	検討	ワンコインバス、公共交通機関全体での連携		
高齢者による交通事故の抑制と公共交通利用促進	38	高齢者、障害者及び小中学生の地域公共交通を活用した外出等支援	継続	実施	商業施設、医療機関、行政機関等との連携、相乗効果、利用促進		
	39	高齢者の運転免許自主返納に対する支援	継続	実施	高齢者・障害者おでかけバス及び子どもフリーバスの購入費用一部負担、高齢者・障害者タクシー券支給		
路線バス等運賃の検討（乗継運賃、わかりやすい運賃体系）	40	路線バス等運賃の検討（乗継運賃、わかりやすい運賃体系）	新規	調査	高齢者の交通事故抑制、免許証自主返納した75歳以上の高齢者が対象、バスカード又はタクシー券（2万円分/人）支給 現状の距離制運賃と新たな運賃体系シミュレーションとの比較など		